

2008年9月1日

第55号

発行：日本臨床検査技師連盟
発行人：小嶋繁昭

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◇◆ 連 盟 ◆◇◆

今号の主な内容

- ◇ 予算編成要望書提出
- ◇ 連盟加入人口数の推移
- ◇ 衆院選挙の推薦
- ◇

今般、昨年に引き続き、平成21年度予算編成に関する要望書を自由民主党政務調査会・団体総局へ提出しました。今後医療団体とのヒアリングが予定されています。

また、自由民主党に続き公明党へも、臨床検査技師制度改革懇話会を通じ提出する予定としています。

◇ 平成21年度予算編成に関する要望書 ◇

現在、少子高齢化が進展する中で、保健・医療・福祉の充実が求められており、国民に対する安全で安心な医療を提供する観点からも、臨床検査業務のあるべき方向について検討を重ねております。

特に、職能団体としての職責を全うすべく重点事業の展開を計画しておりますが、医療機関における臨床検査室の運営は年々厳しさが増しております。

このような情勢をご推察のうえ、別紙の事業におきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

臨床検査データの標準化と精度保障に関する事業

① 臨床検査精度管理調査事業

現在、当会では、年間およそ1億3,000万円の巨費を投じ、全国約3,400の会員施設の参加を得て、わが国で唯一臨床検査全般を網羅した精度管理調査を毎年実施し、臨床検査の精度を保障することによって国民医療に貢献している。

② 臨床検査データ標準化事業

平成19年度より臨床検査専門の職能団体の責務として“いつでも、どこでも同じ臨床検査データ”が得られるように、日本臨床検査標準協議会ならびに全国47都道府県の臨床検査技師会との連携のもとに、年間1億円規模の臨床検査データ標準化事業に取り組んでいる。

医療制度改革の下、医療費の削減とともに日本の医療に求められている最優先事項は、医療情報のIT化と科学的根拠に基づく医療の実践といえる。そのためには、EBMの根幹を成す臨床検査データの標準化による報告値と基準範囲の統一が不可欠となる。

臨床検査データの標準化は、“病院が変われば検査データが異なる”というこれまでの国民の認識を変え、重複検査防止による医療費抑制効果を生み、電子カルテシステムの普及などに多大な貢献をするものである。

特に、平成20年度より義務化された特定健診・保健指導において、標準化された臨床検査データを用いることの重要性は言を俟たないところである。

臨床検査の標準化と標準化されたデータの共有化が、平成20年4月から義務化された特定健診の成否の鍵を握っているといても過言ではない。

臨床検査データを標準化することにより、全国津々浦々の健診や診療の場において、正確で信頼される臨床検査データが国民に提供される。

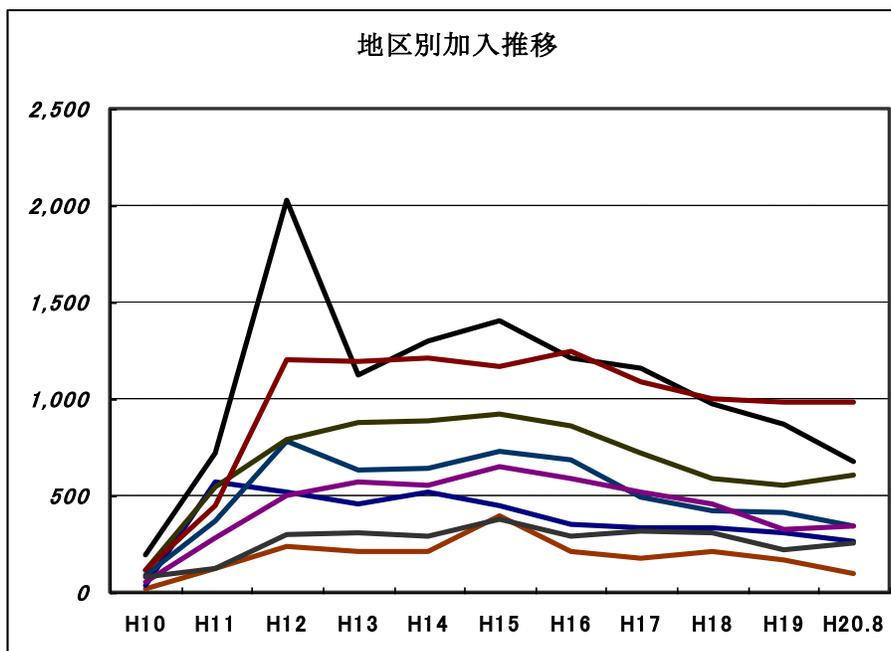
均質な臨床検査データを迅速に用いることは、DPCの推進、患者満足度の向上に貢献し、ひいては医療に対する国民の信頼を増幅することは必定である。

平成20年12月施行の公益法人制度改革の本旨から、本来、国家が主導すべきでありながら当会が実施している以下の公益事業対策としての、予算化を含む特段のご配慮をいただきたく要望する。

◇ 日本臨床検査技師連盟加入口数の推移

(単位：口数)

地区	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20.8	合計
北海道	21	123	239	210	208	393	210	173	207	165	94	2,043
東北	38	573	517	458	518	445	348	330	335	304	259	4,125
関東甲信	191	719	2,026	1,126	1,294	1,400	1,208	1,161	978	866	678	11,647
中部	86	368	780	634	641	725	687	489	421	408	345	5,584
近畿	50	281	504	567	550	650	591	514	460	326	340	4,833
中国	117	546	791	873	887	921	856	716	584	553	601	7,445
四国	79	119	294	311	290	379	288	313	304	221	252	2,850
九州	113	448	1,203	1,196	1,211	1,167	1,248	1,084	1,000	979	983	10,632
その他	0	0	5	1	5	5				2		18
合計	1,369	6,231	12,474	10,541	10,995	11,772	10,662	9,387	8,371	7,481	7,010	92,168



日本臨床検査技師連盟が発足された平成10年より10年強にわたる連盟加入口数の推移を地区別に示します。これによると臨床衛生検査技師法の改正が成立した平成17年より、加入口数が急激に低下しております。

改正成立当時の厚生労働委員長が言った「法改正は臨床検査技師の熱意が実を結ぶ」の言葉を今一度かみ締め今後の法改正を推進するために、周囲の仲間に連盟の加入を勧めてください。

衆議院選挙に向けて... 政府、与党を推薦!

現在、自由民主党総裁選に向けて政局があわただしくなっています。各政党は総裁選挙の後に控えている総選挙に向けた活動が活発化しており、日本臨床検査技師連盟に対しても自由民主党ならびに公明党より立候補者の推薦依頼が提出されております。連盟では常任委員会にて、前回同様、政府与党への推薦を決定しました。

先の臨床検査技師法案の改正については、自由民主党ならびに公明党の絶大なる力添えにて一定の成果が挙げられましたが、その後の改正後処理が一部積み残しとなっています。

現在、厚生労働省との折衝を行っていますが、停滞気味であり、今後の局面によっては各議員の協力が必要となることも予想されます。

法改正はまだまだ“最初的一步”にすぎません。

今、臨床検査技師の団結力を示す時です。

法改正運動を推進させましょう!